

2年 社会科

教科の重点目標

学びに向かう姿勢を高める

	学習指導に関する現状と課題	授業改善のための具体的な取組	補充・発展的な学習指導の計画（具体的な取組の目標値や評価規準等）	今年度の評価（成果と課題）
第2学年	<p>(学びに向かう姿勢を育てる)</p> <p>生徒たちの反応から授業の内容に関する興味・関心の引きつけは導入部分の工夫に影響されると感じた。その単元の導入・発問を工夫することにより生徒たちの学習意欲を喚起させる。</p> <p>(歴史的分野)</p> <p>学習内容に対して、興味・関心のある生徒とそうではない生徒の二分化が起きている。暗記科目であるという認識が強く、歴史的事象のつながりの理解や資料の読み取りに対して課題がある。</p> <p>(地理的分野)</p> <p>歴史的分野に対して興味・関心をもっている生徒は少ないように感じる。資料の読み取りや気候条件から発生する自然災害・産業のつながりを理解することに課題がある。</p>	<p>(学びに向かう姿勢を育てる)</p> <p>発問の内容は主に既習事項や時事問題など生徒たちが答えられるものから行うことにより、学習意欲を喚起する。また復習の意味も持たせることで本時の内容との関連性をつくる。</p> <p>導入部分に関しては生徒たちが身近に感じるものを中心に教材開発を行う。また、視覚教材を取り入れることにより学習意欲の喚起を促す。</p> <p>(歴史的分野)</p> <p>知識をもとに考える授業展開を行う。また単元のつながりを意識した授業展開をすることで学習内容の関連性を重視する。そのためには単元をつらぬいた発問・学習課題を設定し、生徒たちに提示する。</p> <p>(歴史的分野)</p> <p>社会科の教科特性である資料の多さを電子黒板や利用して補い、生徒たちが理解しやすいように提示する。グラフ・地図・映像などを提示することによって、資料活用の技能や思考力・判断力・表現力を高める授業展開にする。</p>	<p>(共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「対話的」な学習の前に自分の考えを記入させることにより、思考力判断力・表現力を高められるようにする。 ・ペアワークや、グループワークを積極的に取り入れ、自分の考えを共有して比べるような場をつくり、表現の仕方について他者から学ぶことができるようにする。 ・知識も確実に定着させるため、「月例テスト」を行い基礎・基本の力の充実を図る。 	